




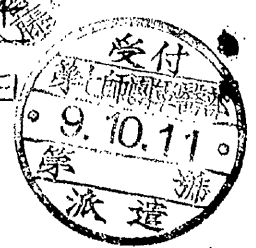
4510

員	部	長
		



熱師常報第九六號

昭和九年十月
第七師團參謀部



○ 支那側ノ對滿偵察

- 一 宋哲元滿洲國籍ノ部下ヲ潛入セシム
- 二 中央黨部東北偵察團ヲ組織ス
- 三 南京政府便衣偵察隊ヲ派遣ス

○ 在北平中國陸軍第百二十九師戰區地帯附近へ

移駐ヲ計畫ス

0780

0158

既

布

先

第

九

五

號

回

シ

0781

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

○ 支那側ノ對滿偵察

一 宋哲元滿洲國籍ノ部下ヲ潛入セシム (密偵報)

宋哲元ハ滿洲國內ノ情勢精査ノ目的ヲ以テ熱河省ニ
郷里ヲ有スル部下約二十名ヲ選定シ十月一日龍門所
出發潛入セシメタリト

二 中央黨部東北偵察團ヲ組織ス (密偵報)

曰 蘇關係日ニ險惡ノ度ヲ加ヘ一觸セハ忽チニ決
裂セントスル情勢ニアリ中央黨部ノ要人ハ機乘ス
ヘシトナシ中央委員朱霽青軍事委員會北平分會代表
鮑文樾北平憲兵司令邵文凱等主動者トナリテ東北偵
察團ヲ秘密裡ニ組織シ入滿左記四項等ニ記述ノ事項
調査ヲナサシムト云ス探査シ得タル該團ノ内容左ノ

ノ如シ

ノ入團人員

ノ東北出身ノ學生

ノ朝鮮獨立黨員

ノ英米並支那國籍ノ宣教師

ニ藍衣社員

乙ノ入團手續

ノ秘密漏洩ヲ防止スル爲ニ入團手續ハ黨員三名ノ

連帶保證ヲ要ス

ノ團員ハ事情酌量ノ上家中ノ費用ヲ支給ス

ノ朝鮮獨立黨々員ハ特別待遇トス

3. 團經費

ノ南洋支那移民ノ義金

ノ藍衣社秘密費

ノ官吏商民ヨリノ秘密義金

4. 團員任務

イ 日蘇暗雲ノ程度ヲ調査並日滿軍隊ノ移動實況調
査

ロ 日滿ノ平津ニ對スル態度進シテ平津奪取シ急ク
ルヤ否ヤ調査

ハ 察哈爾邊疆ニ對シテ日滿ハ如何ナル措置ヲ取リ
テアルヤノ調査

5. 日滿軍隊ノ配置情況調査
附帶任務

イ 義勇軍トノ氣脈ヲ通スヘク畫策ス
ロ 在滿ノ憲兵ト連絡方法ヲ講ス

ハ 中東路ノソクエトト服務員ト連絡ス
ニ 在滿白系露人ト親密ニシ朝鮮浪人ニ及ホス

6. 團本部所在地
イ 軍事委員會北平分會内ニ暫設ス

ロ 北平憲兵司令部北平勵志社ハ各人ノ連絡機關ト
ス

その他

該團ハ成立日淺ク米夕實行ニ移ラス
通報方法ニ就テハ英米領事館ヲ利用スルヤ英米
ノ宣教機關ヲ利用スルヤ否ヤハ目下慎重ニ研究
中ナリト

三 南京政府ノ便衣偵査隊ヲ派遣ス (永見警備隊根)

南京政府ハ今回南京ニ於テ便衣偵査隊ヲ編成シ
信ナル者ヲ總隊長ニ任命シ員二百名ヲ五箇隊
隊シ四名トシ各隊ニ一名ノ隊長ヲ置クニ分チ海陸
兩方面ヨリ逐次滿洲國內及非戰區地帯ニ潛入セシメ
現下ニ於ケル狀況ヲ配置狀況並ニ勅靜
1. 滿洲國內ニ於ケル諸設備狀況
2. 日滿警備機關ノ配置狀況並ニ勅靜
3. 日滿民衆ノ思想

中國政府ハ目下非戰區地帯内ニ於テ潜伏シテ進行の活

○ 在北平中國陸軍第百二十九師戰區地帯附近
へ移駐シ計畫ス
(永見警備隊報)

4. 滿洲國內ニ於ケル重要地ノ地形及主要道路
 5. 非戰區地帯中國官吏並ニ有力者ノ動靜
 6. 一般居住地ノ感想
 7. 非戰區地帯内ニ於ケル日鮮人ノ思想及行動
 8. 日滿主要人物ノ來往狀況
 9. 日滿各機關ト中國官吏ノ連絡ノ有無
 10. 不良分子ノ有無
 等ヲ内査セシメ將來ニ於ケル國策ノ資料ニ供スルコ
 ト、ナシタルカ先發一ヶ隊ハ既ニ九月初旬南京ヲ出
 發シ、非戰區地帯ニ潜入セリ、尚總隊長靳守信ハ現在
 國民政府主席ノ官邸附近ニ居住ス

躍ヲ爲シテ今、アル
 モノニシテ、面輩下北
 シテ、中、國、部、護、送、ヒ、名、ト、共、ニ、中、國、他、憲、ト、速、捕、セ、ル
 一帯ヲ根拠トシテ、華北ヲ獨立スルニ力常ニ遵化縣附近
 リ、活及攪亂ヲテ、警防セシムル爲、現任北平ニ駐屯シテ
 ア、中、國、陸、軍、策、百、一、十、九、師、ヲ、送、ク、爲、現、任、北、平、ニ、駐、屯、シ、テ
 シ、ム、ル、コ、ト、セ、リ、ト、イ、フ